



防爆電気機器の中国強制認証

防爆電気機器のCCCポリシー

CCC（China Compulsory Certification）とは、中国政府が義務づけた製品に対し、認証された製品に使用する統一マークです。消費者個人の安全と国家安全を保障し、製品の品質管理を強化するため、中国政府が法令に基づいて実施している製品適合性評価です。

背景

2019年7月5日、中国国家市場規制総局は政府命令第CNCA-C23-01:2019号を発行しました。これは、生産ライセンスの交換から強制的な製品認証まで、危険な場所の電気機器を管理するための要件に焦点を当てたものです。

その後、2019年10月1日以降、CCCの管理範囲に防爆電気機器が含まれるようになり、CCCが正式に発行されました。CCCを取得していない防爆電気機器を中国国内で販売・輸入、または、その他の事業活動に使用することができません。

有効な生産ライセンスを持つ企業は、移行期間内にCCCを申請をし、その後の変更、延長およびフォローアップ検査の費用を負担しなければなりません。（移行期間は2019年10月1日から2020年10月1日までで終了）

中国防爆電気機器の強制認証は、中国の防爆産業改革の大切な段階であることから、多くの防爆電気製造企業にとって重要な課題です。テュフ ラインランドは、一時的に防爆電気機器のCCC管理範囲に含まれている17種類の製品について、中国国内のCCC防爆認証機関との協力体制を構築しています。また、欧州および米国にCCC工場監査有資格者を擁し、申請から認証までワンストップで提供することが可能です。

CCC実施のための技術的要件

CCC 防爆型電気機器の範囲（暫定 17 種類）

カテゴリコード	製品カテゴリ	製品スコープ
2301	防爆モーター	H 160 mm または定格電力 15 kW；160 mm < H 280 mm または 15 kW < 定格電力 100 kW；280 mm < H 500 mm または 100 kW < 定格電力 500 kW；500 mm < H or 500 kW < 定格電力
2302	防爆電気ポンプ	定格電力 15 kW；15 kW < 定格電力 100 kW；100 kW < 定格電力
2303	防爆配電設備	配電盤、電力維持盤、ジャンクションボックス、電源（ボックス）、フィルター（ボックス）、電力補償装置、整流器（ボックス）、電力変換器（スイッチング装置）
2304	防爆スイッチ、制御および保護装置	配電盤（箱）、押しボタンスイッチ（箱）、サーキットブレーカー、制御盤（箱、パネル）、リレー、操作箱（プラットフォーム、ステーション）、プロテクター（箱）、保護装置、ドリラーコンソール、トリップ装置、マスターコントローラ；速度制御装置；ブレーカー；電子ブレーカー；遠隔送信機(受信機)、チョッパー
2305	防爆スターター	スターター、ソフトスターター、インバータ（箱）、リアクタ
2306	防爆変圧器	可動式発電所、電圧変圧器、調整器、変流器
2307	防爆アクチュエータと電磁弁	電気アクチュエータ、バルブ電気機器、電気バルブポジショナ、電気バルブ、電磁弁、電磁石、電磁コイル、電気ストップバルブ、調整弁、電空インバータ、ブレーキ、プロペラ
2308	防爆コネクタ	電気コネクタ、ラッチ（プラグとソケットを含む）、ラッチスイッチ

CCC 防爆型電気機器の範囲（暫定 17 種類） つづき

カテゴリコード	製品カテゴリ	製品スコープ
2309	防爆監視製品	カメラ、カメラのプラットフォーム、モニター、モニターの場所、中継器、伝送インターフェイス、ビデオサーバー、表示、IPC のコンピュータ、警報装置
2310	防爆通信信号装置	双方向無線機、スピーカー（電気ホーン）、電話機、プレーヤー、コールステーション、基地局、交換機、光端末、電話タンドムボード、信号結合器、信号増幅器、信号分配器、信号拡張器、ネットワーク端末、アイソレータ、スピーカー、タッパー、信号装置、電気ベル、通信インタフェース、アナンシエータ、表示器、ネットワークアクセス装置、ネットワークブリッジ、ドライバ、ゲートウェイ、送波セット、受信セット、信号変換器
2311	防爆型空調換気設備	エアコン、除湿機、ファンコイルユニット、換気扇、ファンヒーター、扇風機
2312	防爆電熱製品	電気ヒーター、電熱ベルト、電熱テープ、電熱棒、電熱板、電熱管
2313	防爆アクセサリーと Ex 部品	ネジ箱、ケーブルボックス、シーリングボックス、防爆エンクロージャ、柔軟な接続パイプ、ケーブルエントリデバイス、パッキンググランド、プラスチック製のファンブレード、ターミナル、端子、端子ブッシュ、絶縁体
2314	防爆型計器	コレクター、カウンター、エンコーダ、デコーダ、カードリーダー、認識器、識別カード
2315	防爆センサー	光電センサー、速度センサー、温度（湿気）センサー、状態センサー、声・光学制御センサー、焦電（赤外線）センサー、張力センサー、煙センサー、石炭のレベルセンサー、触覚センサー、破損センサー、偏差センサー、スロットルセンサー、電圧（流れ）センサー、斜度センサー、磁気センサー、供給センサー、近さセンサー、遅れのセンサー、非常停止センサー、材料センサー、位置センサー
2316	安全壁	ツェナーバリア、アイソレーションバリア、セーフティリミッター（モジュール）、セーフティカブラ、本質安全電力
2317	防爆箱	インストルメントボックス、インストルメントパネル、インストルメントキャビネット、ワットメーターボックス

防爆電気機器認証の規格

コード	防爆タイプ	規格	
		一般要求規格	特別規格
1	防災筐体 "d"	GB 3836.1-2010 爆発性雰囲気 - パート 1 装置の一般的な要求事項	GB 3836.2-2010 爆発性雰囲気 - パート 2：防爆エンクロージャ "d" で保護された機器
2	安全性向上規格 "e"		GB 3836.3-2010 爆発性雰囲気 - パート 3：安全性を高めた "e" で保護された機器
3	本質安全性 "i"		GB 3836.4-2010 爆発性雰囲気 - パート 4：本質的に安全 "i" で保護された機器
4	加圧筐体 "p"		GB/T 3836.5-2017 爆発性雰囲気 - パート 5：加圧されたエンクロージャ "p" にで保護された機器
5	液浸 "o"		GB/T 3836.6-2017 爆発性雰囲気 - パート 6：液浸 "o" で保護された機器
6	粉体充填 "q"		GB/T 3836.7-2017 爆発性雰囲気 - パート 7：粉体充填 "q" で保護された機器
7	保護の種類 "n"		GB 3836.8-2014 爆発性雰囲気 - パート 8：保護等級 "n" で保護された機器
8	保護のタイプ "m"		GB 3836.9-2014 爆発性雰囲気 - パート 9：保護等級 "m" で保護された機器
9	本質安全 "iD"		GB12476.1-2013 可燃性粉塵環境用電気機器 - パート 1 一般要求事項
10	囲い込み "tD"	GB 12476.5-2013 可燃性粉塵環境用電気機器 - パート 5：エンクロージャによる保護 "tD"	
11	カプセル化保護 "mD"	GB 12476.6-2010 可燃性粉塵環境用電気機器 - パート 6：カプセル化による保護 "mD"	
12	保護のタイプ "pD"	GB 12476.7-2010 可燃性粉塵環境用電気機器 - パート 7：保護のタイプ "pD"	

防爆電気機器のCCC認証 - 申請方法

新製品申請の認証モードとプロセス

有効な生産ライセンスを持たない事業者や輸入事業者は、2019年10月1日からCCC認証申請を行うことができ、CCCの手続きや技術的な規定に沿って実施することができます。

認証後の定期監査は、認証後のフォローアップ監査、サンプル検査および/または生産現場での検査のいずれか、または両方を組み合わせた方法があります。

基本フロー



IECEX認証でCCC認証を申請

基本フロー

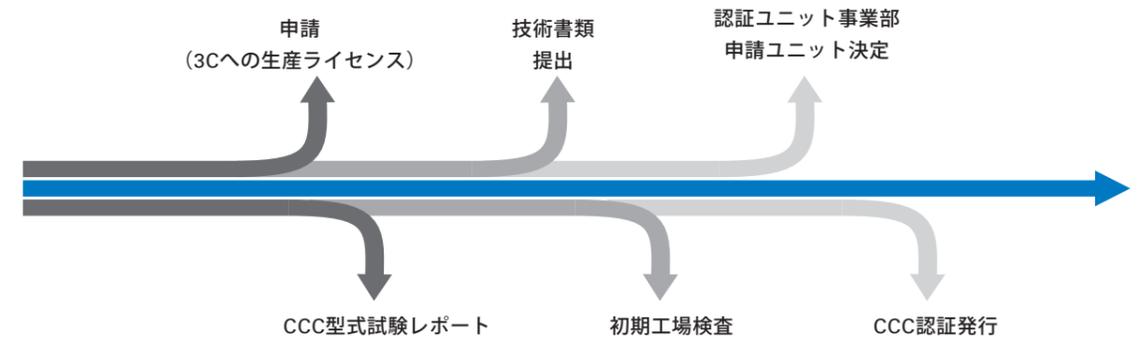


CCCプロセスへの生産ライセンス

2019年10月1日より、防爆電気機器の製造許可が有効な企業は、関連製品のCCC申請が可能です。

認証移行期間終了：2019年10月1日から2020年10月1日まで

基本フロー



ライセンス譲渡手続きにおける初回工場検査は、特定の条件に応じてライセンス発行前に実施することも、ライセンス発行後に実施することも可能です。最初の工場監査（ライセンス発行後の監査）は、ライセンス発行後6ヶ月以内に完了しなければいけません。ライセンス後の監査の費用は、企業が負担します。

CCC適合マーキング

CCC適合性管理

認証の維持管理

細則で示されている製品認証の有効期間は5年間です。有効期間中は、認証機関による認証後の監督により、認証書の有効性が左右されます。有効期間満了後も認証書を継続する必要がある場合、認証保持者は、有効期間満了前の90日以内に認証委託を行わなければなりません。審査の結果が、最後の認証後の認証書の有効期間内で適格であった場合、文書レビューおよび再認証が可能になります。文書レビューと再認証を実施しないと、認証書は有効期限から5営業日後に取り消されます。

認証の修正

認証製品の変更（使用する主要部品、防爆安全に関する構造やパラメータ、防爆部品の適合など）、製品に基づく認証基準、認証機関の変更（認証会社名、住所変更など）、その他認証結果に影響を与える変更があった場合、認証申請者は製品の認証後に変更申請を行う必要があります。

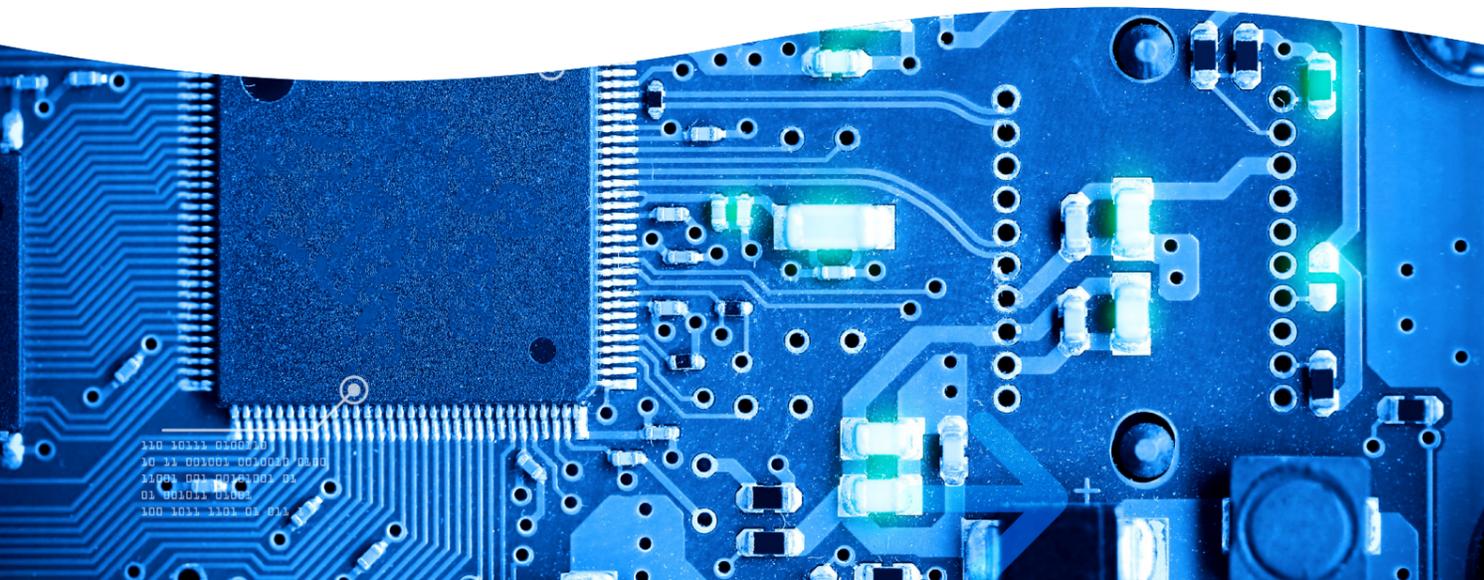


CCC適合マーキング



認証の延長

認証申請者は、認証の対象となる製品の範囲を拡大する必要がある場合、拡張製品の認証委託を申し入れし、それに対応する技術データを提出しなければなりません。原則として、当初フルタイプ試験を受けた代表的なモデルサンプルを拡張評価の基礎とします。



テュフ ラインランド ジャパン株式会社
〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-19-5
新横浜第二センタービル
Tel. 045-470-1860

カスタマーサービス
info@jpn.tuv.com

東日本地域 Tel. 045-470-1850
西日本地域 Tel. 06-6355-5400

www.tuv.com

